

富津市国民健康保険事業運営協議会会議録

1 会議の名称	令和3年度 第1回富津市国民健康保険事業運営協議会
2 開催日時	令和3年8月6日(金) 午後2時00分～午後3時10分
3 開催場所	富津市役所 2階 第3委員会室
4 審議等事項	議件 富津市国民健康保険出産費資金貸付基金条例を 廃止する条例(案)の制定について 報告事項 (1) 令和2年度富津市国民健康保険事業特別 会計決算見込について (2) 富津市国民健康保険第2期保健事業実施計 画(データヘルス計画)中間評価について
5 出席者	委員 齊藤千代子 平野順子 齋藤茂 浅野英治 福原敏夫 平野英男 千倉淳子 三富敏史 事務局 高橋恭市 坂本秀則 平島光洋 古宮直紀 藤寄勉 鹿島亜希子 小林紀之
6 欠席者	委員 竹内修 熊切篤 山寄智子 金井徳彰 荻木圭
7 公開又は非公開の別	公開・一部公開・非公開
8 非公開の理由	
9 傍聴人数	0人(定員3人)
10 所管課	健康福祉部 国民健康保険課 電話 0439(80)1271
11 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

古宮係長	<p>(会議前諸連絡)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料確認 ・委員の辞任、就任について ・傍聴者がいない旨報告 ・出席者は過半数を超え本協議会は成立する旨報告
福原会長	(会長あいさつ)
高橋市長	(市長あいさつ)
坂本部長	<p>(委員及び職員の紹介)</p> <p>委員名簿のとおり紹介</p>
福原会長	<p>(議事進行)</p> <p>それでは、しばらくの間、議事進行をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議件1の「富津市国民健康保険出産費資金貸付基金条例を廃止する条例（案）の制定について」を議題といたします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
平島課長	<p>(議件)</p> <p>資料のとおり説明</p>
福原会長	<p>(質疑)</p> <p>それでは、説明が終わりました。</p> <p>ただ今の説明等について、委員の皆様から質問等ございましたらお願いをいたします。</p> <p>質問はございませんか？</p> <p>質問もないようですので、質疑を終了いたします。</p> <p>質疑もないので、この件については審議を終了いたします。</p>
福原会長	<p>(議決)</p> <p>それでは、議件1の「富津市国民健康保険出産費資金貸付基金条例を廃止する条例の制定について」は、諮問のあったとおりとする旨、答申をいたしますけれども、これにご異議ございませんか。</p> <p>異議なしということでございますが、賛成をいただける方については、今一度、挙手をお願いいたします。</p> <p>挙手全員であります。</p> <p>よって、ただ今の件については決定をさせていただきました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
福原会長	<p>続いて報告事項になります。</p> <p>報告事項1「令和2年度富津市国民健康保険事業特別会計決算見込に</p>

ついて」を議題とし説明をお願いいたします。
事務局の説明を求めます。

古宮係長 (報告事項)
資料のとおり説明

福原委員 (質疑)
ありがとうございました。
それでは、事務局の説明が終わりました。
委員の皆様から何かご質問、ご意見等ございましたら、お願いをいたします。

三富委員 歳入のところで、参考までに教えていただきたいのですが、4款の県支出金、特別交付金の保険者努力支援分のところで、先ほどの説明で、すごく成果が上がっております、995点中595点ということで、トータルでこの金額になっているのかと思いますが、どのようなポイントの評価をされているのか、参考までに教えていただければと思います。

平島課長 それでは、お答えいたします。
保険者努力支援制度で、点数の良かった項目と悪かった項目についてですが、良かった項目については、共通項目で重複服薬者に対する取り組みの実績状況で、こちらが50点満点中50点でございました。
また、固有項目でデータヘルズ計画策定状況が、40点中40点、それから、医療費通知の取組実施状況が25点中25点となっております。
反対に、悪かった項目については、共通項目で、ガン健診受診率、歯科疾病、健診受診率が70点中23点。固有項目で、収納率向上に関する取り組みの実績状況が100点中25点となっております。

福原会長 よろしいですか。

三富委員 はい。ありがとうございました。
今、課長からご説明いただいてよくわかりましたけれども、努力支援制度のポイントが県内5位という結果であり、こういった成果の実績を公表するお考えはございますか。

平島課長 はい。お答えいたします。
ご指摘のとおり、県内でも高い順位でありますので、アピールポイントでもあると思いますので、どのような媒体にするかは、今後協議いたしますけれども、いずれかの方法で、市民の方にお知らせできればと考えております。

三富委員 はい。ありがとうございます。
最後に、歳出のところで教えていただきたいのですが、2款の一般被保険者傷病手当のところで、先ほど新型コロナウイルス感染症に感染し

たものと感染の疑いがあるものも含まれているかと思いますが、その場合、良いのか悪いのかは別として、予算額580万円に対して、15万8千円ほどということですが、8月5日時点で、富津市内に166人発症者がおります。

5月31日時点でということですが、周知はどのようにしているのか、参考までに教えていただければと思います。

古宮係長

周知方法についてお答えいたします。
周知方法につきましては、前年度の国民健康保険税の納税通知書にパンフレットを同封いたしました。
それに加えて、ホームページ、国保だより等で周知を図り、商工会のほうにもご協力いただきまして、商工会の会員の皆様に周知をしていただいたところでございます。

三富委員

わかりました、ありがとうございます。

福原会長

その他いかがでしょうか。
それでは、質問もないようですので、ただいまの「令和2年度国民健康保険事業特別会計決算見込」についての説明は以上で終了いたします。

続いて、報告事項の2番になります、「富津市国民健康保険第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）中間評価について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

藤寄課長

（報告事項）
資料のとおり説明。

福原会長

（質疑）
はい。ありがとうございました。
説明が終わりました。
この件について、委員の皆様から何か質問等ございましたら、お願いをいたします。

齋藤茂委員

4ページ、5ページに関係したことで、確認のため質問させていただきます。

4ページ、5ページの中で、アウトカム評価と5ページのアウトプット評価というものが、表記されていますが、最初に作られた平成29年までの資料で、このあたりの規定をどのようにされているのか。

というのもですね、アウトプットの評価というのは、どちらかと言うと、質より数的なものを重視する、そのような評価だと私は認識しております。

それに対して、アウトカム評価というものは、成果や結論、単なる数ではなくて、どの程度達成されたのかと、あえてこの評価を中長期目標の中ではアウトカム評価、あるいは短期目標の中ではアウトプット評価と分けて考えていいのか確認のため質問させていただきました。

藤寄課長 大変申し訳ございません。
後ほど回答させていただくような形でよろしいでしょうか。

福原会長 はい。よろしいでしょう。
それでは、ただ今の質問については後ほどの回答ということで、よろしく願いいたします。

齋藤茂委員 もう一つ質問します。
アウトプット評価に中長期的な評価をしてはいかがでしょうか。
その点も、ご検討いただければと思います。
将来的な、冊子の書き換えの際に、また問題になるのかと思います。

藤寄課長 はい。検討させていただきます。

福原会長 はい。よろしく願いいたします。

その他ご質問等ありますか。

三富委員 4ページにも記載されていますが、糖尿病性腎症患者数の目標値が12%減から、64.2%増ということで、やはり、国民健康保険を圧迫するうえで非常に深刻だと思えますが、その中で課題解決が重要だという説明がございましたけれども、この原因の分析はどのようになされているのか教えていただきたいです。

鹿島係長 この糖尿病性腎症の患者数の伸び率の12%減少の目標についてですが、患者数が実際に大きく増えていますが、15ページ、初期値の平成28年から令和元年度の間評価までの経過を見ていただくと、平成29年の大きな増加は、初期値が極端に少なかったということも1つ考えられます。
ただ、その後増加が続いているのは事実ですので、減少のための対策が重要と考えています。
原因としましては、やはり糖尿病性腎症の患者数の伸び率ですので、まずは糖尿病対策が重要です。自覚症状がない、血糖値が高い状態を早くデータで確認をしていただくため、より多くの方に健診を受けていただく未受診者対策がまず重要と考えます。
その上で、なるべく糖尿病でない方を糖尿病にしない発症予防、糖尿病の方も合併症を起こさない、重症化をさせない重症化予防の保健指導を重要視しなければならないと考えます。健診項目にヘモグロビンA1cという、血糖値の評価をする検査値がありますが、その数字を上げないように毎年比べて活動の評価としていきます。
また、あわせて高血圧も糖尿病性腎症を重症化する原因疾患と考えております。
先ほど、課長から説明があったと思いますが、血圧は日々変動しておりますので、「血圧が私は高いんだ」という自覚がなかなか難しい疾患で

あります。血圧は変動して体を守るという大事な働きがあるんですけども、やはり、生身の人間、血管を大事にするという意味では、常に血圧が高い状態を問題だという意識を持っていただくような、保健指導に力を入れていきたい。その結果として、高血圧の治療者の増加や、健診での血圧レベル別高血圧者の推移を評価し高血圧対策をがんばっていきたいと思います。

そのようなことで、高血糖を放置して糖尿病にさせない。糖尿病の方には数値を上げていかない管理をしていけるように、そして、血圧が高い方をできるだけ治療につなげていくというところで、目標を据えているところでございます。

福原会長

ありがとうございます。

他にご質問等ございますでしょうか。

それでは他に質問もないようですので、報告の2番は以上で終了させていただきます。

それでは、本日諮問されました議件については、答申書の作成が必要になりますけれども、答申書の書面については私に一任していただいてもよろしいでしょうか。

それでは、皆さんの同意をいただいて、異議なしということで私に一任させていただきます。

よろしく願いいたします。

次に、本日の議件・報告事項は終わりました。

その他の事項ということで、事務局の方から何かございますか。

古宮係長

(諸連絡)

次回開催予定を案内

福原会長

(その他質疑)

その他ございませんか。

なければ、委員の皆様の方からどうぞ。

齋藤茂委員

この場に、なじまないお願いではありますが、なかなか、お願いする場がございません。

これは、市長さんへのお願いになるかとは思いますが、先ほどから、お話に出てますように、コロナが市内でもまん延しております。そうした中で、市の職員の方々がこのような状況の中で、一生懸命頑張って前線に立って動いておられることが、私たちの耳にも目にも入ってきております。

については、せめて、こちらへいらっしゃる各課の方々へは市民の前に一番出る回数が多いかと思えます。

については、新型コロナウイルス感染症ワクチンをそのような市民の前に出てくる方々は、ワクチンの接種を積極的に進めていただくことが、やはり、市内の感染予防・感染対策に最善の方法かと思っております。ワクチン接種についてのありかたは色々ありますが、ぜひ、そのあたりのことを頭に入れて市長さんのほうが動いていただければ、市民も安

全・安心という心がそこに備わってくるとそんなことを思っております。

高橋市長

大変ありがたいお言葉頂戴いたしまして、感謝申し上げます。
職員に対しての接種でありますけれども、コロナワクチン接種に関係をする職員に関しましては、医療従事者ということですので接種を済ませていただいております。

また、一番初めの緊急事態宣言の時に、仕事を休むことができなかったエッセンシャルワーカーと言われる仕事に含まれる市の職員、保育士等ではありますが、そのような職員に関しましてもすでに接種を済ませております。

残念ながら、その他の一般職、市民の皆様と接する受付業務等している職員すべてにはまだ進んでおりませんが、感染予防対策をしっかりしながら、今は接種券が届いておりますので、基本的に個別医療機関で予約を受け付けられれば、接種ができる状況ではありますが、私共としては集団接種のほうも、少しでも早く、市民の皆様が一人でも多く受けられるような体制を作ってまいりたいという風に思っております。
よろしく願いいたします。

福原会長

ありがとうございました。
その他、委員の皆さんございますか。

齋藤千代子
委員

2つお聞きします。
まずは、コロナの関連で、富津市のコロナに対しての対応は、他市からの一般の人やお医者様から見て、とても評価が高かったんです。
富津市は、おそらく行政と医療機関との関連が円滑にうまくいっているのではないかと思います。
その結果が、ワクチン接種の進み方に滞りがなかったのではないかと言われたので、とてもうれしいと思いました。
そういうことが、先月にあって、今回運営協議会の資料を見ている中で、とても細かいプランがあるんですね。
なので、やはり普段の行政の方々の取り組んでらっしゃることが、そのようなところに少しずつ関連しているのかなということを改めて感じました。
なので、市役所の方々は、外からは色々風当たりの強いことを言われるときもあるんじゃないかと思いますが、とても一生懸命やってくださってるってことを他市からの評価もあったということで、お知らせします。

もう一つは、特定健診のことですが、受付当日に窓口が電話1本だったんです。
あれは何回かけても通じないし、何人対象のものかわからないけれども、電話が1本で大丈夫かなと思っていながら当日を迎えたら、案の定つながらなかったです。

なので、総務課に電話して、「そのような状態はまずいのではないのでしょうか」というお話をしました。
そうしましたら、私がクレーム的なようなことを言ったように受け取られたのか、直接、取り次いでくださって、私は受付をそのままやっていただいたのですが、なにかそれって違うなと思いました。

なので、やはりこれからコロナのことだったり、違う感染症も色々

なことが出てくるとは思います。そういう時に臨機応変に対応できる、フットワークの軽さも必要じゃないかなと思いました。

福原会長 市に対しての意見のようですので、高橋市長どうぞ。

高橋市長 まずはお褒めの言葉ありがとうございました。
またその後のご指摘につきまして、初めてのことでですね、体制が整わない中で、受付等をスタートしたというようなこともあろうかと思えます。
今回のワクチン接種も、正直、スタート時のコールセンターの数を、急遽増やして対応したりということで、ドタバタの中で進めてまいりました。
今回の経験を踏まえて、しっかりと検証して、今後、仮に同じような事態で、要務を進めなければいけないようなことがあれば、この経験を生かしてまいりたいというふうに考えております。

福原会長 ありがとうございます。
その他、よろしいでしょうか。

はい。それでは、質疑等ないので、以上で本日の会議を終了いたします。

大変おつかれの中ありがとうございました。

以上を持ちまして、富津市国民健康保険事業運営協議会を閉会といたします。

大変お疲れさまでした。ご協力ありがとうございました。

(閉会 15 : 10)